

スキップフロアのお家

skip



※会場へはスキップでお越しください



○ご予約不要ですが、混雑時はご予約の方優先となります
 ○ご予約は mail (info@zuiun.jp) またはお電話 (076-213-5505) にて
 ○新保本五丁目北交差点より500m ○会場周辺に案内看板あります
 ○道に迷った方は 076-213-5505へお電話ください

8月8日 sat・9日 sun

10時～18時

〈会場〉金沢市西金沢4丁目39地内

家具から始まる家づくり 37th

新築住宅内覧会

住宅を設計すること。

zuiun便り vol.34

18年も住宅を設計していると、その年代ごとに正しいと思った家を設計してきたつもりですが、経験を積むごとに、気づきがあり、ひらめきがあり、住宅設計に対しての価値観が変わってきたように思います。

経験が浅かった頃は、住宅設計のセオリーである南側の採光を重視した家の設計をしていました。「南側の採光Ⅱ明るい家」というフレーズには妙な説得力があり、敷地に対して南側になるべく広いスペースを設け、庭やカーポートを配置していました。その為、南側に道路のある敷地がとて都合がよく、北側道路の敷地は嫌いました。

やがて、自分の設計した建物の中に入る機会が多くなると、太陽の光が南側から入る事を前提としたプランには限界がある事を知りました。又、時間によって差し込む光が違う事や、季節や天候によっても採光できる条件に違いがある事に気づき、プランに反映することができるようになりました。

そして、住みやすさⅡ使いやすさ(機能性)という考え方に加え、心地よさや、家族の距離感などのソフト面も設計提案もできるようになり、それなりに住宅設計に対して自分なりの考え方も固まってきたつもりでいました。

これまで、いろんな家族の家を設計し、その数だけ、いろんな家族の生活を覗いてきましたし、家づくりをきっかけに、今後の家族の関係を模索し意見を交わす夫婦のやり取りもたくさん見てきました。

住宅を設計するという事は、家族構成や、年齢、職業、家づくりに対しての夢や希望を含めた要望、そして建築費等の資金繰りの事まで、ありとあらゆる情報を集めて設計の手がかりとしていきますが、経験を積むにしたがい、自分の中に確立された標準化されたパターンのようなものでプランニングを進めていくようになりました。ひよつとすると、それが「作風」という事になるのかもしれない。

しかし、標準化は、過去の設計の統計の最適から導きだされたものでしかなく、ネット書店のレコメンドーション機能で本を買っているようなものです。はずれはありませんが、新たな発見もありません。

そういう意味では、住宅の設計者は作風を持つてはいけないのかもしれません。なぜなら、家族は個性の集合体であるし、その価値観もバラバラなのです。家族を定型の作風の中に置いても、住み心地なんていいはずないと思うのです。

家づくりとは「家族」がどう生活していくのか、どういう事が住人にとっての豊かさに繋がるかを考えて、それを整理していく事で住まいの形が顕在化されていくのだと思います。決して間取りやサイズを決めていくだけの単純な事ではないはずです。

今回、そんな自分の中のモヤモヤを解消するきっかけを与えられた住まいで内覧会を開催します。

見る人によっては、非常に住みにくい住宅に見えるかもしれませんが、間取りというよりは、用途別に設けられたスペースで構成された一室空間ですし、子育て世代の御施主様が掲げたテーマが子供との関係や距離感でしたので、まるで親鳥が巣をつくるかのような家づくりになりました。その一方で、スペースをまとめる機能的な部分は、巨大な造作家具のようにシステマチックに無駄なく整理されています。

また、現場に入った大工さんが御施主様のお父さんだった事もあり、週末を利用して御施主様家族が現場を手伝ったり、造り上げる工程にも積極的に参加する事で、住まいへの愛着形成に大切な時間になったように思います。

私自身も、そういった体験の中から、住まいづくりの新たな発想の種がまけたように思えます。今後の家づくりにとっても影響された住まいになりました。

住宅の設計は本当に奥が深い。そして楽しい。そう思わせてくれる住宅です。

株式会社 ZUIUN / ZUIUN建築設計事務所
 〒921-8804 石川県野々市市野代1-8
 月～金 11:00～20:00 火曜定休(祝日の場合は営業)
 土日祝 10:00～20:00 ※定休日が変わりました